

# アジアタ・グループ (AXIA)

傘下のインドネシア3位通信事業は4位競合他社と4月に合併完了。携帯通信利用者9450万人、シェア27%へマレーシア | 通信事業者 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG AXIATA :MK | REUTERS AXIA.KL

- 2025/12 期 1Q (1-3 月) は、マレーシア・リングgit高の影響を除くベースで、売上高が前年同期比 2.4%減、EBITDA が同 3.1%減。
- 資産再評価の影響を除く基礎的純利益は増益。スリランカ Dialog における合併効果に加え、減価償却費および純金融費用の減少が貢献。
- 傘下のインドネシア 3 位通信事業が同国 4 位競合他社と 4 月に合併完了。携帯通信利用者 9450 万人、シェア 27%へ躍進。合併効果に期待。

## What is the news?

5/28発表の2025/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比11.3%減の50.89億MYR、為替変動の影響を除けば2.4%減だった。EBITDAが同12.5%減の24.54億MYR、為替変動の影響を除けば3.1%減。端末販売および外国為替変動やその他例外的な変動の影響を除いた基礎的 (underlying) 純利益は同17.4%減の1.23億MYRだったが、資産再評価の影響を除くベースでは7.4%増だった。マレーシア・リングgit高による業績への逆風が大きかったほか、2022年にインドネシアで買収したブロードバンド・プロバイダーのLink-Netとバングラデッシュの通信事業が減収だったことが全体の減収に響いた。利益面では、スリランカDialogの現地競合他社との合併効果に加え、減価償却費および純金融費用の減少、ならびに外国為替換算差益の増加が貢献した。前四半期比では、為替変動の影響を除く売上高が3.8%減、基礎的純利益が24.4%減だった。

1Qのセグメント別売上高増減率は以下の通り。①デジタル通信事業 (Digital Telco) は、同社傘下のマレーシア・セルコム、およびノルウェー系テレノール傘下のDiGiドットコムとの合併会社で、2千万人以上の消費者および企業の加入者数を擁してマレーシア最大手となった「セルコムDigi (CDB)」が前年同期比1.2%増、インドネシアで第3位の通信事業者である「XL」が1.9%増、バングラデッシュで通信事業を行う「Robi」が7.9%減、スリランカでモバイル通信ネットワークを展開する「Dialog」が0.3%増、カンボジアで通信事業を営む「Smart」が3.6%増、2022年に買収したインドネシアの「Link Netインドネシア」が12.2%減だった。②デジタル・ビジネス事業は、電子ウォレットサービスの「ブースト」が36.0%増、アジア9カ国で総合デジタルマーケティング事業を手掛ける「アジアタ・デジタル・アドバタイジング (ADA)」は4.6%減。③インフラストラクチャー事業は、「edotco」が4.7%減だった。

## How do we view this?

通期会社計画は、売上高について従来の前期比1桁台半ばの伸び率としていたのを取り下げた。一方で、EBIT (利払い前税引前利益) が同1桁台後半の伸び率と、従来計画を据え置いた。

スリランカでは24年8月にDialogがエアテル・ランカを吸収合併。インドネシアでは、同国で通信3位のXL社と4位でインドネシア財閥シナルマス・グループ傘下のスマート・フレンが2025年4月に合併を完了し、社名を「XLスマート・テルコム・スジャトゥラ」とした。合併後の新会社にはアジアタとシナルマスのそれぞれのグループが34.8%ずつ出資した。携帯電話通信の利用者数は9450万人、シェアは27%になるという。合併後は基地局の再編などを進める。合理化などで3億~4億ドルの相乗効果を生み出しながら、5Gなどへの成長投資を増やす方針だ。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=34.71円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高 (百万MYR)	19,979	22,264	22,245	15,708	13,211
当期利益 (百万MYR)	9,751	-1,995	947	615	721
EPS (MYR)	1.06	-0.22	0.10	0.06	0.07
PER (倍)	3.43	-	22.26	42.33	36.29
BPS (MYR)	2.61	2.40	2.31	2.28	2.26
PBR (倍)	1.39	1.16	0.96	1.11	1.12
配当 (MYR)	0.09	0.10	0.10	0.10	0.11
配当利回り (%)	2.48	3.59	4.49	4.02	4.25

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) **0.10** (予想はBloomberg)  
 終値 (MYR) **2.54** 2025/7/14

## 会社概要

1992年にテレコム・マレーシアの1部門「テレコム・マレーシア・インターナショナル」として設立後、2008年にテレコムマレーシアから分離独立。アジア最大の通信グループの1つで、モバイルネットワーク、通信インフラストラクチャーおよびデジタルサービスなど多様な事業ポートフォリオを持つ。事業展開する国・地域はおよそ10市場にまたがる。

同社グループは以下の主要3事業セグメントを運営する。

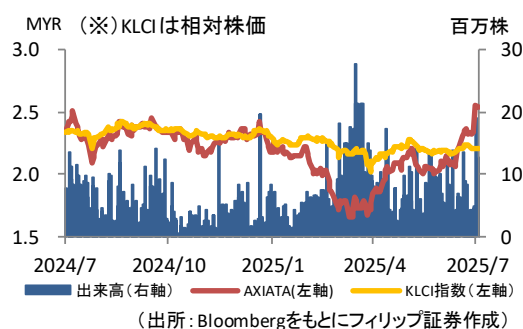
①主力の通信事業は、マレーシアの合併会社「セルコムDigi」、インドネシアの「XL」および「Link Net」、スリランカの「Dialog」、バングラデッシュの「Robi」、カンボジアの「Smart」などのモバイル事業子会社を傘下に持つ。

②デジタル・ビジネス事業は、ADS (アジアタ・デジタル・サービス) が統括しており、その傘下にマイクロファイナンスの「アスピラシ」、電子ウォレットサービスの「ブースト」、アジア9カ国で総合デジタルマーケティング事業を営む「アジアタ・デジタル・アドバタイジング (ADA)」を擁する。

③通信インフラストラクチャー事業は、「edotco」が5カ国で通信インフラストラクチャーサービスを提供し、2万5千カ所以上の拠点を持つ。

## 企業データ (2025/7/15)

ベータ値	1.22
時価総額 (百万MYR)	23,331
企業価値=EV (百万MYR)	57,923
3か月平均売買代金 (百万MYR)	15.7



## 主要株主 (2025/7)

1. ガバナショナル	(%) 36.70
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	18.21
3. AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	15.25

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。